

平成29年度 事業計画

NPO法人:コミュニティNETひたち (Cnet)

本年、当会が平成14年4月茨城県で初めてICT(情報通信技術)を主たる事業とするNPO法人として認証を受けて以来、設立15周年目を迎えることができ、4月22日には設立15周年の式典、5月9日～13日まで記念作品展覧会を開催することができました。これは偏に地域の行政、関連団体のご支援と会員の皆様のご協力の賜物と厚く御礼を申し上げます。

昨年度は会員数も安定的な推移で維持することができ、パソコン講座、各WG(ワーキング・グループ)、同好会、年4回の交流会など年間を通じて活動を継続してまいりました。また設備的にも、Windows10へのアップグレードを進め、新しいパソコン関係機器、各種ソフトの導入や事務室、教室の環境改善を進めました。

平成28年度も熊本地震の発生をはじめ自然災害とともに社会的な大きな事件も相次ぎました。一方でリオ五輪では日本は史上最多のメダルを獲得し4年後の東京五輪に引き継がれました。そのような中で、ICTの技術進歩はパソコンの環境を大きく変えてきています。タブレットやスマートフォンなど新しい機器の急速な普及や、インターネットの更なる社会生活への浸透が進んでいます。このような環境の変化などに伴い、当会の売上、収益ともに予算をほぼ達成することができました。皆様のご協力に対し厚く御礼を申し上げます。本年は、新たな体制の元で、以下、平成29年度の重点施策について述べます。

少子高齢化が一段と進み、情報機器や通信手段の多様化の時代、「ICTのスキルで地域に貢献」の当NPO法人の設立趣旨は益々重要となって来ています。ICTによる地域社会との協働、共生および貢献を継続していきます。そのためには、常にパソコン、タブレット、スマートフォンなどの最新技術の習得、スキル向上、新しい機器、設備の導入を図り地域社会の要請に応えられる体制作りが必要です。また新しい応用ソフトウェアやプログラミング技術などの習得が必要になります。

次は会員の交流拡大と活力に満ちた環境作りです。会員のみなさんが気楽に集い、パソコン談義など技術の習得を楽しみながら、新たに始めたいことなどを語り合えるサロンのような環境作りです。共通のテーマについては各WGや交流会のドキュメントを会員相互でもっと共有できるようにしたい、また講座のテキストをCnetで独自に編集して作っていくことも積極的に進めてまいります。

次は、業務を常日頃から見直しながら会員へのサービス向上を図っていかねばなりません。最新のOAシステムの導入を図り合理化、省力化を継続して推進しましょう。

最後は業務の基本及び社会的なルールを遵守することです。高齢化が一段と進み作業の安全確認、出退勤時の交通事故防止には一段と留意してまいりましょう。

以上を纏めて下記を重点に取り組んでまいります。会員のみなさんのご協力と積極的な活動、行事への参加をお願いいたします。

1. 重点方針

- (1) ICTによる地域社会との協働、共生及び貢献と積極的な提案活動
- (2) 最新ICT技術の習得、スキル向上
- (3) 会員の交流拡大と活力に満ちた環境作りと会員相互の情報共有の促進
- (4) 業務の見直し、合理化、省力化と基本の遵守

設立15周年を経過して、加齢に甘えず「シニアの報酬は、相手の笑顔」、「シニアの生甲斐は、人や地域のお役に立つこと」を堅持しながら、常に業務の進め方の改善、会員へのサービス向上、事務所の環境改善を目指して、清新にして活力に満ちた「NPO法人:コミュニティNETひたち」であり続けてまいりましょう。

2. 事業計画

No	重点方針	具 体 施 策
1	ICTによる地域社会との協働、共生及び貢献と積極的な提案活動	<ol style="list-style-type: none"> 1.計画段階からの協働(カリキュラム見直し・提案など)による県北生涯学習センター、大子町パソコン講座の講師派遣事業の継続受注 <ul style="list-style-type: none"> ・講師の新規発掘および育成による講師陣の強化 2.多賀地区パソコン教室の着実な運営、保守継続と利用拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・Windows10 入門講座など新規講座の開設 ・日立市各団体への広報活動による「パソコン友の会」会員拡大継続 3.「ひたちインターネット美術館」の運営継続と(株)JWAY殿との協働による作品のテレビ放映継続 4.新規ホームページの作成及び書籍の編集、製本事業の積極展開、既設ホームページの運営継続(日立市教育研究会など) 5.ひたちパソコン探検少年団の指導と取り纏め(新団員9名) <ul style="list-style-type: none"> ・指導員の若返りと新規テーマ取り込みによる活動の活性化 6.「ある町の高い煙突」映画製作の支援 7.県北フェスティバル等地域行事への積極参加
2	最新ICT技術の習得、スキル向上	<ol style="list-style-type: none"> 1.パソコン・スキルアップ講座による新技術の習得、講師級のスキルアップ及び新規講座の講師の育成 2.講師相互の情報共有の推進と能力の向上 3.プログラミング技術の習得によるオリジナルなキャラクターなどの制作(スクラッチ/VBスクリプト/Javaスクリプトなど) 4.DTP技術の習得による印刷原稿や電子書籍の制作と製本講座の継続(Adobe Photoshop/Illustrator/InDesignなど) 5.ICT活用による高齢化社会への支援事業推進(自分史、句集、歌集、写真アルバム等の発行支援、スマホ利用支援) 6.「スマホを楽しむ会」の継続とスキルアップ、ブログ利用会員の拡大による情報交換の促進
3	会員の交流拡大と活力に満ちた環境作り	<ol style="list-style-type: none"> 1.会員の交流の広場、パソコン相談の場の拡大と沙龙的な環境作りと融合したパソコンを楽しむ会、パソコン技術交流会の開催 2.土日など休日を利用して、勤労者を対象にしたパソコン教室の検討 3.俳句の会、デジカメの会、パソコンを楽しむ会、パソコン技術交流会の継続と各WGへの参加者の拡大
4	業務の見直し、合理化、省力化と基本の遵守	<ol style="list-style-type: none"> 1.高齢化に対応した事務所管理業務、事務所当番の役割の見直し 2.新規入会会員のパソコン入門講座の進め方、担当講師の検討 3.経費節減による収益の確保 4.業務の基本及び社会的なルールやマナーの遵守、作業の安全確認、出退勤時の交通事故防止

ICT=Information & Communication Technology (情報通信技術)

DTP=Desk Top Publishing (パソコンにより印刷物や書籍の原稿を作成すること)

平成29年度予算規模は別紙に提案致します。(予算規模別紙)